

ウツクシマツ情報局



令和4年 第1号

ウツクシマツ自生地に水戸小学校3年生の子どもたちが見学に来ました

6月1日（水曜日）に水戸小学校の3年生の子どもたちが平松のウツクシマツ自生地の見学に来ました。

自生地で農林振興課ウツクシマツ再生室の職員から説明を聞いた後、職員と一緒に自生地内を見学しました。

ほとんどの子どもたちはウツクシマツ自生地に初めて来たとのことで、自生地内のウツクシマツや動物、植物、昨年切り倒したウツクシマツのシンボルツリーの切り株など熱心に観察していました。

ウツクシマツ自生地を訪れる機会はあまりないかもしれませんが、湖南省の大切な財産ですので、これを機会に少しでも興味を持ってくれることを願っています。



ウツクシマツの
シンボルツリーの
切り株観察

自生地内の
ウツクシマツを観察





ウツクシマツ自生地内に病虫害対策の薬剤散布をしました

5月25日（水曜日）と6月16日（木曜日）に平松のウツクシマツ自生地内に病虫害対策として薬剤散布を実施しました。

ウツクシマツが枯れる原因となるマツノザイセンチュウを持っているマツノマダラカミキリを防除するために、スミパインという薬剤を、マツノマダラカミキリの成虫が飛び始める時期（例年6月～7月ごろまで）までに散布することで、ウツクシマツを松枯れ被害から守る対策をしています。

スミパインの防除効果は3週間程度とされていることから、3週間程度間隔を空けて2回薬剤を散布しています。

松枯れ対策をしても、松枯れ被害をなくすことは困難ですが、少しでもウツクシマツが枯死することを防ぐために今後も継続して保全活動を実施します。



ウツクシマツ
自生地内への
地上散布状況